

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 すまいるベース

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7%	29%	状況に応じ活動場所を分けている	法令を遵守したスペースを確保している
	2 職員の配置数は適切である	43%	57%	規定の配置基準に沿って人数を配置している	有資格者により良い支援が出来るように児童数に合わせて人員配置をして対応していきます
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	29%	71%		段差はありませんが他に環境整備する点はあるので検討していきたい
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		事業所で目標設定をしてより良い支援が出来るように意識している	業務改善策を全職員に周知し改善に努めていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	71%	29%	アンケート調査を確認し周知・検討をし業務改善に繋げている	保護者へのアンケート回収に努め出来るだけ多くの方のご意見に耳を傾け改善に努めたい
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		HPで公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	29%	71%	第三者による外部評価はしていない	第三者による外部評価は今後の課題とします
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		定期敵に事業所内研修を行っている	見直し後義務化された虐待防止研修・委員会・責任者の設置の内容を職員が把握し実行する
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	71%	29%	面談を実施し子供の状況・保護者様のご意向を踏まえ作成している	今後も利用児童や保護者の方の立場に立ち寄り添い効果的な支援を心掛けたい
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	57%	43%	項目ごとに分け分かり易いツールを使用している	今後も正確にアセスメントが出来るよう努めたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		ミーティングで職員全員で行っている	今後ニーズも取り入れ検討していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%	季節に沿った行事など取り入れた活動を行っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%	季節や子供の状況に応じて行っている	休日・長期休暇はコロナにより取り組むことが難しかった外出活動など平日出来ない体験活動も取り入れ取り組んでいきたい
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%	個別課題・集団活動への取り組みを踏まえて作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		ミーティングで行い伝達表にも記録で残している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71%	29%	毎朝のミーティングで振り返りし記録も取っている	休んでいた職員が目を通して分かり易い記録の取り方をし職員全員周知出来るように心がけたい
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		個別に記録し保護者の方と共有している	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		定期的にモニタリングを実施し計画の見直しをしている	保護者の方より聞き取りを行い子どもの現状把握し見直して適切な計画書作成に取り組んでいる	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	71%	29%	基本活動を組み合わせ合わせて支援をしている		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 すまいるベース

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		児童発達支援管理責任者等の適任者が出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	14%	保護者を通して情報を得ている	学校主催の連携会議等があれば必ず参加している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		100%	対象となる子どもさんは通所してません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	29%	71%	支援員さんを通して記録で情報提供されることがある	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	57%	43%	支援員さんを通して情報提供をする場合もある	情報提供等をする体制はあるが要望があまりない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	29%	71%	必要な研修は参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100%	実施時間内の地域交流は難しい状況	近くの公園での活動時に障がいのない子どもと活動する機会があったので今後増やせればと思っています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	86%	14%	送迎時伝えるように心掛けている	連絡帳の記録や必要に応じて電話での情報共有を行っているが今後より詳細に説明することに心掛けたいと思う
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	29%	71%	保護者に対してのペアレント・トレーニングのプログラムは行っていない	現状対応策を模索することが出来ても改善点や助言するには知識が乏しい。今後必要に応じて適切に助言等が出来るように努めたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86%	14%	丁寧に説明できるように心掛けています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	71%	29%	状況によりお話を聞き適切な対応が出来るよう心掛けています	まずは保護者の方に寄り添う事を心掛けるように努める
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	43%	57%	コロナ感染により交流会を中止していた	コロナウイルスの影響前は年に一度会場や体育館を借りて交流会を行い曜日ごとに子ども達の日頃の様子の試写会も行っていたのでまた開催し保護者様同士の情報共有の場になるような支援をしたいと思えます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	86%	14%	適切に対応している	迅速かつ適切な対応をするように努めていますまた社内で共有し再発防止に繋がります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	43%	57%	HPにて活動概要等を公開している	
	35	個人情報に十分注意している	100%			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		子どもの特性を把握し配慮している	視覚的に伝える絵カードの工夫を今以上に工夫する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%		地域社会に障がいを持つ子ども達の理解を深める為にも今後地域住民との関わりを検討していきたい

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月30日

事業所名 すまいるベース

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	86%	14%	各マニュアルを策定し周知している	職員間では共有しているが保護者の方までは共有できていない点について事業所内に表示していることに加えHPに載せるなど改善していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		月一回実施	避難所に行ったり映像の視聴・非常災害のクイズに取り組むなど継続し子どもスタッフ共に意識を高めたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	71%	29%	研修動画視聴	虐待防止の内部研修を4月に行う予定
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%		保護者の方の同意を頂いた上で計画書に記載している	今後も保護者の方への説明を適切にしていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	57%	43%	保護者の聞き取りにより把握している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	29%	71%	共有はできているが記録が欠ける	事例が起こった際その日に記録し随時共有を徹底し安全に事業運営を行います